

科目名	家庭基礎			単位数	2 単位
学科名	農業	学 年	1 学年	予定時数	70 時間
1 学習目標					
人の一生と家族・福祉、食衣住、消費生活などについて学ぶなかで、基礎的・基本的な知識・技術を習得するとともに、国際化・情報化・生活様式の多様化が進む現代社会において、男女がともに主体的に生活を営み、生活の充実・向上を図る能力と実践的な態度を育成することを目標とする。					
2 指導の重点					
衣食住、家族、福祉、消費に関する幅広い知識や技術を身に着けるため、実習を通じて体験的に学ぶ。課題解決力を解決する態度を養い、一人の社会人としての自立を促す。					
3、学 習 内 容					
【1学期】	1 自立するとは？ (1) 生き方の多様性と人生(2) 青年期と自立(3) 性的自立と人間関係 (4) 生活的自立と社会的経済的自立 2 多様化した社会を生きる (1) 社会の変化と家族の変化(2) 家族の現状と課題(3) 家族をめぐる法律 (4) 多様な生き方 パートナーシップの保障(5) 生活時間と仕事の現状と課題 3 選んで着る (1) 衣服の選択(2) 衣服のトラブル(3) 衣服の材料(4) 衣服の管理(エプロンの制作) (5) 衣服の生産流通廃棄(6) 衣服の機能とこれからの衣服				20時間
【2学期】	4 楽しく安全に食べる (1) 人と食物のかかわり(2) 栄養と食品(3) 栄養素のはたらきと食品の栄養 (4) 食品の選択(5) 食品の取り扱い(6) 食事計画(7) 食品の安全性(8) 食料の輸入と生産 5 消費社会を生きる (1) 情報化・グローバル化する消費生活(2) 情報化と消費生活(3) 広がる経済社会と消費生活 (4) 収入と収支の管理(5) 貯蓄負債と家計管理(6) 契約と消費者信用(7) 電子取引と問題商法 (8) 消費者の権利と救済の仕組み(9) 意思決定の重要性と消費者の権利(10) 環境と公正				30時間
【3学期】	6 住生活をつくる (1) 住環境の意味(2) 住まいの選択(3) ライフスタイルと間取り (4) 住まいの安全安心(5) 環境と住まい(6) バリアフリー(5) 持続可能な住まい 7 子どもと生きる (1) 子どもの保育の場(2) 子どもの権利(3) 社会地域の子育て支援 8 支えあい共に生きる (1) 社会保障の必要性(2) 日本の制度(3) 高齢者福祉(4) 貧困と貧困対策(5) 福祉理念				20時間
教科書	家庭基礎 気づく力 築く未来(実教出版)				
副教材	フード&クッキング(実教出版)				
備考	被服実習、調理実習の実施				

評 価 基 準				
評価項目・対象	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力	評価比重
学 習 姿 勢			◎	20%
実 習	○	◎	○	30%
製 作 物	◎	○		20%
定 期 考 査	◎	○		30%
評価の重点	課題解決のため思考を深め、工夫・創造し、自分の考えをまとめ、判断する力がついたかという観点で、実習やグループワークへの参加やまとめレポートの内容を重点的に評価する。			